

主催 全国商業高等学校長協会・公益財団法人全国商業高等学校協会

後援 文部科学省・日本公認会計士協会・日本税理士会連合会

第32回 (平成28年度) 全国高等学校簿記コンクール問題 (第1部)

注 意 事 項

- (1) 答案は、すべて答案用紙に記入すること。なお、教科書に基づき日頃学校で指導を受けている記帳の方法によって、正確・迅速・整然と記帳すること。
- (2) 机上には、競技番号札・ボールペン（黒・赤）・電卓・そろばん・定規・タイマー以外おかないこと。
なお、物品の貸借はしないこと。
- (3) 赤記すべきところは、赤のボールペンを使用すること。
- (4) 答案作成にあたっては、鉛筆および消しゴムで消せるボールペンの使用は認めない。
- (5) 記帳したものを訂正する場合は、教科書に基づき日頃学校で指導を受けている方法によって訂正すること。
なお、訂正印は省略する。

1 (30点)

下記の取引の仕訳を示しなさい。ただし、勘定科目は、次のなかからもっとも適当なものを使用すること。

現金	当座預金	受取手形	不渡手形	売掛金
積送品	未収金	備品	備品減価償却累計額	土地
のれん	子会社株式	支払手形	買掛金	手形借入金
未払金	社債	その他資本剰余金	自己株式	その他有価証券評価差額金
売上	受取利息	受取手数料	保証債務取崩益	社債償還益
雑益	固定資産売却益	仕入	交通費	保険料
減価償却費	消耗品費	租税公課	支払家賃	支払利息
保証債務費用	社債償還損	固定資産売却損	子会社株式評価損	茨城商店
千葉商店	東京商店	栃木商店	南北商店	保証債務見返
保証債務	試用販売契約	試用仮売上		

- (1) 決算にさいし、現金の実際有高 ¥294,000 と帳簿残高 ¥383,500 との差額について調査した結果、次の記入もれが判明したので、適正に処理した。なお、原因不明分は雑益として処理した。

バス回数券代 ¥36,000 帳簿・ノート代 ¥9,000 鉛筆・万年筆代 ¥6,000
 手数料の受取分 ¥10,000 家賃の支払分 ¥50,000

- (2) 神奈川産業株式会社は、北東商事株式会社の発行済株式の90%を保有し、前期に実質価額によって評価替えしている。さらに、当期においても同社の財政状態が著しく悪化したので、実質価額によって評価替えした。なお、同社の発行済株式数は400株（時価の把握がきわめて困難な株式）であり、資産は前期末に比べて ¥15,720,000 減少し、負債は ¥1,680,000 増加している。

- (3) 株式会社鹿児島商会（決算年1回 3月31日）は、次の条件で発行した社債を、発行後7年目の初頭に額面 ¥100 につき ¥99.30 で買入償還し、小切手を振り出して支払った。ただし、社債は償却原価法（定額法）によって評価しており、償還した社債の帳簿価額は ¥54,294,240 であった。

発行条件 払込金額 額面 ¥100 につき ¥98.60 償還期限 10年

- (4) 富山商事株式会社は、当期首に自社が発行している株式のうち200株を1株につき ¥50,000 で取得し、買入手数料 ¥60,000 とともに現金で支払っていたが、本日、この自己株式のうち100株を1株あたり ¥80,000 で処分し、代金は当座預金に振り込まれた。

- (5) 埼玉商店にA品（原価@ ¥805）とB品（原価@ ¥585）合計3,150個の販売を委託していたが、本日、同店から売上計算書とともに、手取金 ¥3,310,940 の小切手を受け取り、同時に売れ残ったA品35個とB品23個が返送された。ただし、委託販売は当期から開始し、原価率はA品70%、B品75%で売価を設定している。なお、販売のつど原価を仕入勘定に振り替えている。

売上計算書		
売上高		¥ ()
諸掛		
引取費	¥13,000	
保管料	25,000	
手数料	85,870	123,870
手取金		<u>¥3,310,940</u>

- (6) 沖縄商事株式会社は、次の財政状態にある南西商店を取得し、取得の対価は小切手を振り出して支払った。ただし、同商店の年平均利益額は¥632,000 同種企業の平均利益率を8%として収益還元価値を求め、その金額を取得の対価として決定した。なお、南西商店の資産と負債の時価は帳簿価額に等しいものとする。

売掛金 ¥6,600,000 土地 ¥12,100,000 買掛金 ¥11,300,000

- (7) 高知商事株式会社（決算年1回 3月31日）は、所有している備品を平成27年8月26日に徳島商事株式会社に¥600,000で売却し、代金は小切手で受け取り、固定資産売却益¥80,000を計上した。ただし、この備品は平成23年11月6日に取得したものであり、残存価額は零(0)、耐用年数は6年として定額法で減価償却費を計上し、間接法で記帳してきた。なお、当期の減価償却費は月割りで計上すること。

- (8) かねて、愛媛商店あてに約束手形を振り出して借り入れた¥450,000について、同店に対し支払期日の延期を申し込んだところ、このうち¥300,000については延期の承諾を得たが、残額については支払いを要求された。そこで、得意先香川商店振り出しの小切手¥70,000と現金¥80,000を渡し、延期の承諾を得た¥300,000については利息を含めた新手形（振出日4月15日 支払期日6月3日）を振り出し、旧手形と交換した。なお、利率は年4.38%であり、利息は振出日から支払期日までの日割りで計算すること。

- (9) 茨城商店の一連の取引は、次のとおりである。ただし、掛け取引については人名勘定を用いている。

- ① 東京商店に対する買掛金¥400,000の支払いにあたり、さきに栃木商店から裏書きのうえ譲り受けていた南北商店振り出しの約束手形¥250,000を裏書譲渡し、残額は売掛金のある得意先の承諾を得て、次の為替手形#11を振り出し、東京商店に渡した。なお、南北商店振り出しの約束手形について、保証債務の時価を手形額面金額の2%と評価した。

No. 11		為 替 手 形	
収入 印 紙 200円 	住所 千葉県千葉市中央区松波2-22-48 千葉商店 千葉 一郎 殿	支払期日 平成 28 年 6 月 22 日	
	金額 ¥150,000※	支払地 千葉県千葉市中央区	
	東京商店 東京次郎 平成 28 年 4 月 22 日	支払場所 株式会社 全商銀行千葉支店	
	振出地 茨城県水戸市 住所 茨城県水戸市新荘3-7-2 振出人 茨城商店 茨城 太郎 	引受 平成 28 年 4 月 22 日 千葉県千葉市中央区松波2-22-48 千葉商店 千葉 一郎 	

- ② 東京商店に裏書譲渡した南北商店振り出しの約束手形が不渡りとなり、同店から償還請求を受けた。よって、手形金額を小切手を振り出して支払い、栃木商店に償還請求をおこなった。なお、通信費などの諸費用¥900は現金で支払った。

2 (10点)

宮崎商店の7月5日における下記の略式の伝票・売掛金明細表・買掛金明細表によって、仕訳集計表を作成しなさい。ただし、次の取引について略式の伝票に記入したうえで集計すること。

なお、i 仕入・売上の各取引については、代金の決済条件にかかわらず、すべて、いったん掛け取引として処理する方法によっている。また、太字は値引きや返品を示している。

ii 1枚の伝票には、貸借それぞれ1科目だけ記入することになっている。

iii 取引と各伝票の()は各自推定すること。

取引

7月5日 広島商店から商品¥382,320を仕入れ、代金のうち¥166,320は現金で支払い、残額は掛けとした。

〃 長崎商店に商品¥()を売り渡し、代金のうち¥194,400は同店振り出しの小切手で受け取り、残額は掛けとした。

入金伝票		出金伝票		仕入伝票	
売掛金(熊本商店)	172,800	買掛金(鳥取商店)	237,600	() ()	
雑益	8,640	消耗品費	108,000	島根商店	()
売掛金(福岡商店)	302,400	支払利息	7,700	山口商店	14,580
当座預金	516,240	買掛金(山口商店)	75,600	鳥取商店	()
前受金	44,280	租税公課	37,260	岡山商店	599,400
受取手数料	45,360	当座預金	205,200	岡山商店	43,200
() ()		() ()		() ()	

振替伝票(借方)		振替伝票(貸方)		売上传票	
買掛金(岡山商店)()		当座預金	()	福岡商店	410,400
前受金	280,800	売掛金(佐賀商店)	280,800	() ()	
消耗品費	54,540	当座預金	54,540	大分商店	()
買掛金(島根商店)	324,000	支払手形	324,000	大分商店	31,860
当座預金	540,000	借入金	540,000	佐賀商店	()
受取手形	216,000	売掛金(佐賀商店)	216,000	熊本商店	()
当座預金	378,000	受取手形	378,000	() ()	
当座預金	453,600	売掛金(長崎商店)	453,600		
支払手形	345,600	当座預金	345,600		
買掛金(広島商店)	259,200	当座預金	259,200		

売掛金明細表		
	7月4日	7月5日
福岡商店	¥ 334,000	¥ 420,400
長崎商店	550,800	421,200
佐賀商店	432,000	648,000
大分商店	—	605,340
熊本商店	275,400	491,400
	<u>¥ 1,592,200</u>	<u>¥ 2,586,340</u>

買掛金明細表		
	7月4日	7月5日
鳥取商店	¥ 270,000	¥ 487,080
島根商店	129,600	382,320
岡山商店	734,400	919,080
広島商店	475,200	432,000
山口商店	—	201,420
	<u>¥ 1,609,200</u>	<u>¥ 2,421,900</u>

3 (30点)

北陸商店（個人企業）では、普通仕訳帳のほかに、特殊仕訳帳として当座預金出納帳・仕入帳・売上帳を用いている。よって、次の1月中の取引を仕訳帳に記入し、総勘定元帳および売掛金元帳・買掛金元帳に転記しなさい。

- ただし、
- i すでに記入してある取引も転記すること。
 - ii 特殊仕訳帳の摘要欄には、転記に必要な商店名のみ記入すればよい。
 - iii 普通仕訳帳の摘要欄に勘定科目を記入する場合には、（ ）を付けること。また、小書きは売掛金元帳・買掛金元帳に転記する必要があるときに商店名を記入すればよい。
 - iv 総勘定元帳および売掛金元帳・買掛金元帳への転記は、日付と金額を示せばよい。
 - v 特殊仕訳帳は月末に締め切り、合計転記は特殊仕訳帳から直接おこなうこと。

取 引

1月 6日 石川商店から商品¥704,700を仕入れ、代金のうち¥380,000は小切手を振り出して支払い、残額は掛けとした。

8日 従業員から預かっていた所得税¥48,020を小切手を振り出して納付した。

12日 秋田商店に商品¥583,200を売り渡し、代金のうち¥30,000は商品券で受け取り、¥400,000については同店振り出しの約束手形で受け取り、残額は掛けとした。なお、当店負担の発送費用¥6,480は現金で支払った。

13日 秋田商店に売り渡した商品について¥7,560の値引きを承諾した。

14日 福井商店から商品¥594,000を仕入れ、代金のうち¥370,000は北海道商店振り出し、当店あての約束手形を裏書譲渡し、残額は掛けとした。なお、引取費用¥15,660を現金で支払った。

15日 福井商店から仕入れた上記商品のうち¥11,880は品質不良のため返品した。

18日 12日に秋田商店から受け取った約束手形を取引銀行で割引き、割引料¥4,648を差し引かれ、手取金は当座預金とした。（当座預金出納帳だけで処理する）

20日 石川商店に対する買掛金¥393,000を小切手を振り出して支払った。また、福井商店に対する買掛金支払いのため、得意先山形商店あての為替手形¥260,000を振り出し、同店の引き受けを得て、福井商店に渡した。

25日 本月分の給料¥479,300から所得税額¥43,600を差し引き、従業員の手取額は小切手を振り出して支払った。（当座預金出納帳だけで処理する）

27日 山形商店に商品¥507,600を売り渡し、代金のうち¥240,000については長野商店振り出し、新潟商店引き受けの為替手形を裏書きのうえ譲り受け、¥180,000は山形商店振り出しの小切手で受け取り、ただちに当座預金に預け入れ、残額は掛けとした。

29日 営業用のコピー機¥432,000を購入し、代金は小切手を振り出して支払った。なお、この備品の設置費用¥19,440は現金で支払った。（取引の全部をいったん普通仕訳帳に記入する）

4 (30点)

岐阜商事株式会社の第41期（平成27年4月1日から平成28年3月31日まで）の次の資料によって、精算表を完成しなさい。

ただし、i 精算表に記入するさいには、千円単位で記入すること。

ii 残高試算表欄には総勘定元帳勘定残高を付記事項によって修正した金額を記入すること。

資 料

I 総勘定元帳勘定残高

現 金	¥ 863,000	当 座 預 金	¥ 4,310,000	受 取 手 形	¥ 930,000
売 掛 金	3,493,000	貸 倒 引 当 金	20,000	売買目的有価証券	1,920,000
繰 越 商 品	1,566,000	仮払法人税等	480,000	備 品	2,720,000
備品減価償却累計額	1,030,000	土 地		支 払 手 形	550,000
買 掛 金	1,950,000	退職給付引当金	1,350,000	資 本 金	
資 本 準 備 金		利 益 準 備 金		繰越利益剰余金	
売 上	53,092,000	受 取 地 代	1,260,000	仕 入	31,492,000
給 料	13,821,000	支 払 家 賃	1,155,000	保 険 料	252,000
水道光熱費	300,000	租 税 公 課	718,000	売 上 割 引	110,000
株式交付費	100,000				

II 第41期における純資産の部に関する資料は次のとおりである。

(1) 期首の残高は、資本金¥14,000,000 資本準備金¥1,000,000 利益準備金¥875,000 繰越利益剰余金¥1,803,000（貸方）であった。

(2) 6月25日に開催された株主総会において、繰越利益剰余金を次のとおり配当および処分することを決議した。

配 当 金 ¥1,300,000 利益準備金 ¥130,000

(3) 9月1日に事業拡張のため、あらたに株式を発行し、資本金¥1,500,000を計上した。

III 付記事項

a. 得意先静岡商店から売掛金を期日前に受け取ることとなり、契約により1%の割引をおこない、現金¥297,000を受け取ったさいに、次の仕訳をしていたので、訂正する。

(借方) 現 金 297,000 (貸方) 売 掛 金 297,000

b. 当期首に不要となった備品（取得原価¥1,120,000 減価償却累計額¥490,000）を¥560,000で売却していたが、次の仕訳をしていたので、訂正する。

(借方) 当座預金 560,000 (貸方) 備 品 560,000

c. 売掛金のうち¥20,000は、得意先南北商店に対する前期末のものであり、同店は倒産し回収不能となったので、貸し倒れとして処理する。

IV 決算整理事項

- a. 期末商品棚卸高 ¥1,593,000
- b. 貸倒見積高 受取手形と売掛金の期末残高に対し、それぞれ貸倒実績率を1%として、貸し倒れを見積もる。
- c. 売買目的有価証券評価高 売買目的で次の株式を保有している。
愛知商事株式会社 20株 時価 1株 ¥45,000
三重商事株式会社 200〃 時価 1〃 〃 5,100
- d. 備品減価償却高 定率法により、毎期の償却率を25%とする。
- e. 地代前受高 2年前から毎月同額の地代を月末に翌月分として受け取っているが、1月末日に2月からの4か月分の地代を受け取っていたため、前受分を計上する。
- f. 退職給付引当金繰入額 ¥415,000
- g. 法人税・住民税及び事業税額 ¥1,811,000

第32回（平成28年度） 第 1 部〔答案用紙〕

1	
得点	

番号		氏名	
----	--	----	--

2	
得点	

3	
得点	

4	
得点	

1部	
総得点	

1 審	
-----	--

2 審	
-----	--

3 審	
-----	--

	借 方	貸 方
(1)		
(2)		
(3)		
(4)		
(5)		
(6)		
(7)		
(8)		

		借	方	貸	方
(9)	①				
	②				

2

仕 訳 集 計 表
平成28年 7月5日

借	方	元 手	勘 定 科 目	元 手	貸	方
			現 金			
			当 座 預 金			
			受 取 手 形			
			売 掛 金			
			支 払 手 形			
			買 掛 金			
			借 入 金			
			前 受 金			
			売 上			
			受 取 手 数 料			
			雑 益			
			仕 入			
			消 耗 品 費			
			租 税 公 課			
			支 払 利 息			

番号		氏名	
----	--	----	--

1	
得点	

2	
得点	

3

当座預金出納帳

1

[illegible]

仕 入 帳

1

[illegible]

帳 上 壳

1

[illegible]

普 通 仕 訳 帳

1

[illegible]

総勘定元帳

現 金 1		当 座 預 金 2	
1/1 前期繰越	217,360	1/1 前期繰越	1,327,500
受 取 手 形 3		売 掛 金 4	
1/1 前期繰越	883,400	1/1 前期繰越	918,000
繰 越 商 品 5		備 品 6	
1/1 前期繰越	605,000	1/1 前期繰越	360,000
支 払 手 形 7		買 掛 金 8	
	1/1 前期繰越 623,940		1/1 前期繰越 811,000
所 得 税 預 り 金 9		商 品 券 10	
	1/1 前期繰越 48,020		1/1 前期繰越 160,000
資 本 金 11		売 上 12	
	1/1 前期繰越 2,668,300		
仕 入 13		給 料 14	
発 送 費 15		手 形 売 却 損 16	

売掛金元帳

秋 田 商 店 1		山 形 商 店 2	
1/1 前月繰越	571,000	1/1 前月繰越	347,000

買掛金元帳

石 川 商 店 1		福 井 商 店 2	
	1/1 前月繰越 393,000		1/1 前月繰越 418,000

3	
得点	

精 算 表

平成28年3月31日

(単位：千円)

勘 定 科 目	残 高 試 算 表		整 理 記 入		損 益 計 算 書		貸 借 対 照 表	
	借 方	貸 方	借 方	貸 方	借 方	貸 方	借 方	貸 方
現 金	863						863	
当 座 預 金								
受 取 手 形								
売 掛 金								
売買目的有価証券								
繰 越 商 品								
仮払法人税等								
備 品								
備品減価償却累計額								
土 地								
支 払 手 形								
買 掛 金								
退職給付引当金								
資 本 金								
資本準備金								
利益準備金								
繰越利益剰余金								
売 上		53,092				53,092		
受 取 地 代								
仕 入								
給 料								
支 払 家 賃								
保 険 料								
水道光熱費								
租 税 公 課								
売 上 割 引								
株式交付費								
固定資産売却損								
貸倒引当金								
貸倒引当金繰入								
減価償却費								
退職給付費用								
前 受 地 代								
未払法人税等								
法 人 税 等								
当期純利益								

4	
得点	

第32回（平成28年度） 第 1 部〔審査基準〕

<table><tr><td>1</td></tr></table>	1	3 点×10=30点
1		

<table><tr><td>2</td></tr></table>	2	2 点× 5 =10点
2		

<table><tr><td>3</td></tr></table>	3	3 点×10=30点
3		

<table><tr><td>4</td></tr></table>	4	3 点×10=30点
4		

1部	100点
合計	

	借 方	貸 方
(1)	交通費 36,000 消耗品費 15,000 支払家賃 50,000	現金 89,500 受取手数料 10,000 雑益 1,500
(2)	子会社株式評価損 15,660,000	子会社株式 15,660,000
(3)	社債 54,294,240	当座預金 54,217,800 社債償還益 76,440
(4)	当座預金 8,000,000	自己株式 5,000,000 その他資本剰余金 3,000,000
(5)	現金 3,310,940 仕入 2,458,750	売上 3,310,940 積送品 2,458,750
(6)	売掛金 6,600,000 土地 12,100,000 のれん 500,000	買掛金 11,300,000 当座預金 7,900,000
(7)	備品減価償却累計額 820,000 減価償却費 100,000 現金 600,000	備品 1,440,000 固定資産売却益 80,000
(8)	手形借入金 450,000 支払利息 1,800	現金 150,000 手形借入金 301,800

		借 方	貸 方
(9)	①	東 京 商 店 400,000	受 取 手 形 250,000
		保 証 債 務 費 用 5,000	千 葉 商 店 150,000
	②		保 証 債 務 5,000
		不 渡 手 形 250,900	当 座 預 金 250,000
		保 証 債 務 5,000	現 金 900
			保 証 債 務 取 崩 益 5,000

2

仕 訳 集 計 表

平成28年 7月5日

借 方	円	勘 定 科 目	円	貸 方
1,284,120		現 金		837,680
1,576,800		当 座 預 金		1,547,100
216,000		受 取 手 形		378,000
2,667,600		売 掛 金		1,673,460
345,600		支 払 手 形		324,000
1,492,020		買 掛 金		2,304,720
		借 入 金		540,000
280,800		前 受 金		44,280
53,460		売 上		2,667,600
		受 取 手 数 料		45,360
		雑 益		8,640
2,304,720		仕 入		57,780
162,540		消 耗 品 費		
37,260		租 税 公 課		
7,700		支 払 利 息		
10,428,620				10,428,620

1

3 点×10=30点

2

2 点× 5 =10点

当 座 預 金 出 納 帳

1

平成 28年	勘定科目	摘 要	元 丁	売 掛 金	諸 口	平成 28年	勘定科目	摘 要	元 丁	買 掛 金	諸 口
1 5	売 掛 金	山形商店	売2	84,000		1 6	仕 入		✓		380,000
18	受取手形		3		400,000	8	所得税預り金		9		48,020
25	所得税預り金		9		43,600	18	手形売却損		16		4,648
27	売 上		✓		180,000	20	買 掛 金	石川商店	買1	393,000	
						25	給 料		14		479,300
						29	備 品		✓		432,000
				84,000	623,600					393,000	1,343,968
31			4		84,000	31			8		393,000
〃			2		707,600	〃			2		1,736,968
		前月繰越	✓		1,327,500			次月繰越	✓		298,132
					2,035,100						2,035,100

仕 入 帳

1

平成 28年	勘定科目	摘 要	元 丁	買 掛 金	諸 口
1 6	当座預金		✓		380,000
	買 掛 金	石川商店	買1	324,700	
14	受取手形		3		370,000
	買 掛 金	福井商店	買2	224,000	
	現 金		1		15,660
15	買 掛 金	福井商店	買2	11,880	
				548,700	765,660
31			8		548,700
〃			13		1,314,360
〃			8/13		11,880
					1,302,480

(注) 純仕入高の1,302,480は、上部に単線、下部に複線がなければならない。

売 上 帳

1

平成 28年	勘定科目	摘 要	元 丁	売 掛 金	諸 口
1 12	商 品 券		10		30,000
	受取手形		3		400,000
	売 掛 金	秋田商店	売1	153,200	
13	売 掛 金	秋田商店	売1	7,560	
27	受取手形		3		240,000
	当座預金		✓		180,000
	売 掛 金	山形商店	売2	87,600	
				240,800	850,000
31			4		240,800
〃			12		1,090,800
〃			12/4		7,560
					1,083,240

普 通 仕 訳 帳

1

平成 28年	摘 要	元 丁	借 方	貸 方
1 1	前 期 繰 越 高	✓	4,311,260	4,311,260
12	(発 送 費)	15	6,480	
	(現 金)	1		6,480
20	(買 掛 金)	8/買2	260,000	
	(売 掛 金)	4/売2		260,000
	福 井 商 店			
	山 形 商 店			
29	(備 品)	諸 口	6	451,440
	(当 座 預 金)	✓		432,000
	(現 金)	1		19,440

総勘定元帳

現 金		1	当 座 預 金		2
1/1 前期繰越	217,360	1/12 6,480	1/1 前期繰越	1,327,500	1/31 1,736,968
		14 15,660	31 707,600		
		29 19,440			
受 取 手 形		3	売 掛 金		4
1/1 前期繰越	883,400	1/14 370,000	1/1 前期繰越	918,000	1/20 260,000
12 400,000		18 400,000	31 240,800	31 84,000	
27 240,000				" 7,560	
繰 越 商 品		5	備 品		6
1/1 前期繰越	605,000		1/1 前期繰越	360,000	
			29 451,440		
支 払 手 形		7	買 掛 金		8
		1/1 前期繰越 623,940	1/20 260,000	1/1 前期繰越 811,000	
			31 393,000	31 548,700	
			" 11,880		
所 得 税 預 り 金		9	商 品 券		10
1/8 48,020		1/1 前期繰越 48,020	1/12 30,000	1/1 前期繰越 160,000	
		25 43,600			
資 本 金		11	売 上		12
		1/1 前期繰越 2,668,300	1/31 7,560	1/31 1,090,800	
仕 入		13	給 料		14
1/31 1,314,360		1/31 11,880	1/25 479,300		
発 送 費		15	手 形 売 却 損		16
1/12 6,480			1/18 4,648		

売掛金元帳

秋 田 商 店		1	山 形 商 店		2
1/1 前月繰越	571,000	1/13 7,560	1/1 前月繰越	347,000	1/5 84,000
12 153,200			27 87,600	20 260,000	

買掛金元帳

石 川 商 店		1	福 井 商 店		2
1/20 393,000		1/1 前月繰越 393,000	1/15 11,880	1/1 前月繰越 418,000	
		6 324,700	20 260,000	14 224,000	

3 3点×10=30点

精 算 表

平成28年3月31日

(単位：千円)

勘 定 科 目	残 高 試 算 表		整 理 記 入		損 益 計 算 書		貸 借 対 照 表	
	借 方	貸 方	借 方	貸 方	借 方	貸 方	借 方	貸 方
現 金	863						863	
当 座 預 金	4,310						4,310	
受 取 手 形	930						930	
売 掛 金	3,470						3,470	
売買目的有価証券	1,920						1,920	
繰 越 商 品	1,566		1,593	1,566			1,593	
仮払法人税等	480			480				
備 品	2,160						2,160	
備品減価償却累計額		540		405				945
土 地	12,900						12,900	
支 払 手 形		550						550
買 掛 金		1,950						1,950
退職給付引当金		1,350		415				1,765
資 本 金		15,500						15,500
資本準備金		1,000						1,000
利益準備金		1,005						1,005
繰越利益剰余金		373						373
売 上		53,092				53,092		
受 取 地 代		1,260	180			1,080		
仕 入	31,492		1,566	1,593	31,465			
給 料	13,821				13,821			
支 払 家 賃	1,155				1,155			
保 険 料	252				252			
水道光熱費	300				300			
租 税 公 課	718				718			
売 上 割 引	113				113			
株式交付費	100				100			
固定資産売却損	70				70			
	76,620	76,620						
貸倒引当金				44				44
貸倒引当金繰入			44		44			
減価償却費			405		405			
退職給付費用			415		415			
前 受 地 代				180				180
未払法人税等				1,331				1,331
法 人 税 等			1,811		1,811			
当期純利益					3,503			3,503
			6,014	6,014	54,172	54,172	28,146	28,146

4	3 点×10=30点
---	------------